

第 83 回グリーンサポート隊活動報告

1. 日時：平成 30 年 3 月 18 日（日）午前 9 時～11 時 晴れ
2. 場所：淑徳大学側 B 地区
3. 参加者：26 名
4. 活動内容

B 地区（淑徳大学側道路沿い）は、樹木の手入れが充分ではなく、枝が道路に張り出すなど危険な状況が続いていたが、今回地権者の方が道路沿いの危険な樹木を伐採したことから、今月の活動場所として選んだ。事前に草刈隊が下草を刈り込んでくれたので当日の作業としては、枯れ落ちた枝拾いと刈り取った下草の収集を実施した。グリーンサポート隊としてこの地区ではあまり活動をしていなかったもので、枝も沢山おちていて、刈り取った下草も予想以上に多く、1 回だけでは作業を完了できなかった。次回以降継続して作業を実施していく必要を感じた。トラスト地内の樹木の伐採もほぼ完了し、淑徳大学側道路沿いの大きな樹木を伐採したことで緑地公園の方から見ると大学の方まですっきり見通すことが出来るようになり、今までと景色が変わった。イラスト地内の遊歩道も通路両側に杭とロープが設置され、未だ一般通行は出来ないが、全体の様子がわかるようになった。既に散歩などで、歩いている方もいる。自然を愛でてくれるのはありがたいが、草花など持ち帰りなどないように啓蒙活動も必要になる。

こぶしの花が咲き始め、B 地区に 1 本だけある彼岸サクラは、既に花が散り、葉桜になっていた。野草類は、これから芽生えてくると思うが自然の恵みはすばらしい。いつまで残していきたいと思う。

作業終了後、作業地区の呼称を確認するために地割り図を配布した。最近、県内で被害が出始めたサクラの外来害虫「クビアカツヤカミキリ」の話をした。外敵がいなくてこのことで発生すると早期発見、早期駆除しか防ぐ方法がないとのことなので注意して見るようお願いした。



すっきりした景色



どんぐりの芽生え